

宮古島の農業および農業関連産業の推進に関する協定を4者で締結

～宮古島に關係の深い4者それぞれが持つ資源などを活用して、農業および農業関連産業の発展に協力します～

宮古島市
学校法人東京農業大学
東京急行電鉄株式会社
宮古観光開発株式会社

宮古島市、学校法人東京農業大学(以下、東京農大)、東京急行電鉄株式会社(以下、東急電鉄)、宮古観光開発株式会社(以下、宮古観光開発)は、宮古島の気候・環境に適した農作物の選択、栽培方法などの確立、およびその加工商品開発を目指し、宮古島の農業および農業関連産業の推進に関する協定を締結しました。また、協定の一環として、西アフリカや熱帯アジア、オセアニアなどで重要な食糧資源となっている「熱帯産ヤマイモ」の生産・加工・販売に取り組みます。

宮古島は、台風の常襲など、農業を営む上で厳しい自然環境にあるものの、農業は観光産業とともに重要な産業の柱となっています。地域経済の活性化に寄与するため、宮古島に關係の深い4者それぞれが持つ資源などを活用して、農業および農業関連産業の発展に協力します。

<主な協定内容>

<提携・協力事項>

1. 宮古島の気候、環境に適合した作物の栽培
2. 宮古島の気候、環境に適合した作物を原料とした加工商品の試験的な生産
3. 宮古島の気候、環境に適合した作物、およびそれを原料とした加工商品の試験的な出荷
4. 宮古島の気候、環境に適合した作物、およびそれを原料とした加工商品の情報発信および対外的紹介活動
5. その他宮古島農業の情報発信および対外的紹介活動の推進

<各者の役割>

- ・宮古島市は、本活動を宮古島市民に周知させるために必要な場および媒体を提供する。
- ・東京農業大学は、研究材料、種苗などを提供し、土壌・用水・肥料等の改良に必要な検査・試験を実施する。
- ・東急電鉄は、活動の実施場所、農業機械を提供する。また、商品開発、販路開拓に必要な経営資源を提供する。
- ・宮古観光開発は、農場において、本活動の対象作物の栽培管理に要する労務を提供する。

今後、宮古島市において、東急電鉄および宮古観光開発が東京農大の指導のもと、農場での農作業などに取り組むほか、加工商品の開発や販路の開拓など、関連分野での貢献を目標に、農業および農業関連産業の推進を4者で進めていきます。

以 上

【参考】

各者の概要

学校法人東京農業大学

大学設立: 1925年

創 立: 1891年

(キャンパス概要)

本部・世田谷キャンパス: 東京都世田谷区桜丘1-1-1

(応用生物科学部 地球環境科学部 国際食料情報学部 大学院農学研究科など)

厚木キャンパス: 神奈川県厚木市船子1737

(農学部 大学院農学研究科)

オホーツクキャンパス: 北海道網走市八坂196番地

(生物産業学部 大学院生物産業学研究科)

1986年4月、宮古島市城辺福里に教育・研究・技術普及の拠点機能を有した「宮古亜熱帯農場」を開設し、これまで熱帯・亜熱帯作物に関する調査・研究や地下水などの環境に配慮した作物栽培技術の開発などに貢献してきました。

熱帯の果樹や作物については、マンゴーやピタヤなどの導入に際し先鞭的な役割を果たし、近年では、「熱帯産ヤムイモ」の一種である「ダイジョ」の品種特性、栽培技術、高付加価値化に関する研究を行っています。

東京急行電鉄株式会社

(会社概要)

本 社: 東京都渋谷区南平台町5番6号

設 立: 1922年9月

事業内容: 鉄軌道事業、不動産事業

東急電鉄は、1970年頃に宮古島の美しい海やさんご礁、砂浜など、国内でもすぐれた自然条件に着目し、大規模な滞在型海洋性リゾートの実現を目指し、事業用地を取得しました。

1979年の南西航空のジェット化の追い風もあり、1983年開発に着手し、1984年4月にさまざまなアクティビティを備えた、宮古島東急リゾート(151室)を開業しました。

その後、1993年には97室を増設し、現在248室で経営し、多くのお客さまにご愛顧いただいています。また、1988年4月には海越えの名物ホールを持つ、18ホールズのエメラルドコーストゴルフリンクスを開業しました。

宮古観光開発株式会社

(会社概要)

本 社: 沖縄県宮古島市下地字与那覇1591番地1

設 立: 1967年6月

営業種目: ゴルフ場経営、農場経営など

1988年、来間島を望む海沿いの土地に東急電鉄が開発した、エメラルドコーストゴルフリンクスの経営を行っており、多くの観光客や地元ゴルファーにご利用いただいています。

また、昨年4月からは、下地字与那覇にて圃場整備工事を行い、紅芋・かぼちゃなどの生産農業を開始しました。

